



外傷歯の 診断と治療

増補新版

月星光博◎——著

この本はアートという名のサイエンスである



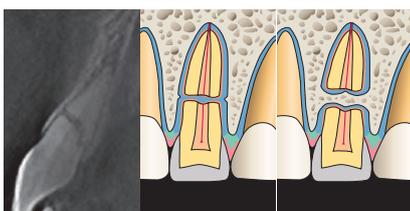
11か国で翻訳出版された『外傷歯の診断と治療』の増補新版。外傷歯学に興味のある人もそうでない人にも、また、外傷歯を頻繁に治療する人もそうでない人にも、歯科治療へのヒントは少なくない。

text book SCIENCE

- ◆「分類と定義」「診査・診断」「治療方針」「治療の流れ」で各外傷を解説してあるわかりやすい構成。
- ◆臨床家のためのMIIに基づく歯科臨床の教科書。
- ◆長期の臨床経過、多くの文献からの精緻な考察。

colour atlas ART

- ◆圧倒的に豊富な臨床例。
- ◆治癒の経過を観察した歯科用コーンビームCT像を掲載。
- ◆見やすい口腔内写真、エックス線写真が満載。



●サイズ:A4判変型 ●244ページ ●定価:9,765円(本体9,300円・税5%)



クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <http://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp

外傷歯の治療から、 できるだけ被せない・抜髄しない・抜歯しない治療、 すなわち,minimal intervention(MI)の 必要性と重要性を学ぶことができる。

外傷歯に関する情報は世界的に十分ではない。う蝕および歯周病に対する治療法の発展は、その予防も含めて著しいものがあるが、外傷歯のそれは、発現頻度の高さに比して歯科教育のなかで現在でも置き去りにされているかもしれない。筆者は増補新版を上梓するにあたり、この本を歯科治療におけるミニマル・インターベンション(MI)の「入り口」あるいは「原点」に位置づけたい。外傷歯学は、保存修復学・歯内療法学・歯周療法学・歯の移植学・インプラント治療学など、歯科学のあらゆる分野にその知識・技術がフィードバックされる部分は少なくない。

CONTENTS

INTRODUCTORY CHAPTER	歯と歯周組織を理解するために
CHAPTER 1	外傷歯の分類と診査・診断
CHAPTER 2	歯冠破折
CHAPTER 3	歯冠-歯根破折
CHAPTER 4	歯根破折
CHAPTER 5	亜脱臼
CHAPTER 6	挺出性脱臼
CHAPTER 7	側方性脱臼
CHAPTER 8	トランジエント・アピカル・ブレイクダウン
CHAPTER 9	脱離
CHAPTER 10	埋入
CHAPTER 11	顎骨の外傷, 歯肉・歯槽粘膜の外傷
CHAPTER 12	乳歯列への外傷



シリーズ MIに基づく歯科臨床

(vol.2以降〔仮題〕も順次発刊予定)

- vol.1 外傷歯の診断と治療 増補新版
- vol.2 治癒の歯内療法
- vol.3 コンポジットレジンと審美修復
- vol.4 自家歯牙移植
- vol.5 歯周治療の科学と臨床

「シリーズ MIに基づく歯科臨床」を刊行するにあたって

筆者は開業して約30年が経過した。この間、ペリオ、エンド、修復、外傷歯、歯牙移植など、さまざまな歯科臨床に興味をもち、記録を取り続けてきた。そして自分の臨床を振り返るとき、歯の硬組織・歯髄・歯根膜・歯槽骨などに対して、より保存的で、生物学的許容性の高い治療、いいかえれば、できるだけ被せない、抜髄しない、抜歯しない治療、すなわちminimal intervention (MI)の重要性(歯の延命と患者の喜びにつながることを思い知るにいたった。

筆者は長年、クインテッセンス出版の雑誌や本で、多くの症例発表、論文考察の機会をいただいていたが、このたび、それらに新たな知見・考察・臨床経過を大幅に加えて、5つの「シリーズ MIに基づく歯科臨床」として出版する機会をいただいた。多くの読者の共感が得られれば幸いである。

月星光博

----- きりとり線 -----

注文書

シリーズ MIに基づく歯科臨床 Vol.01 外傷歯の診断と治療 増補新版

冊注文します。

モリタ商品コード:805340

●お名前	●医院名	●ご指定納入店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	支店・営業所

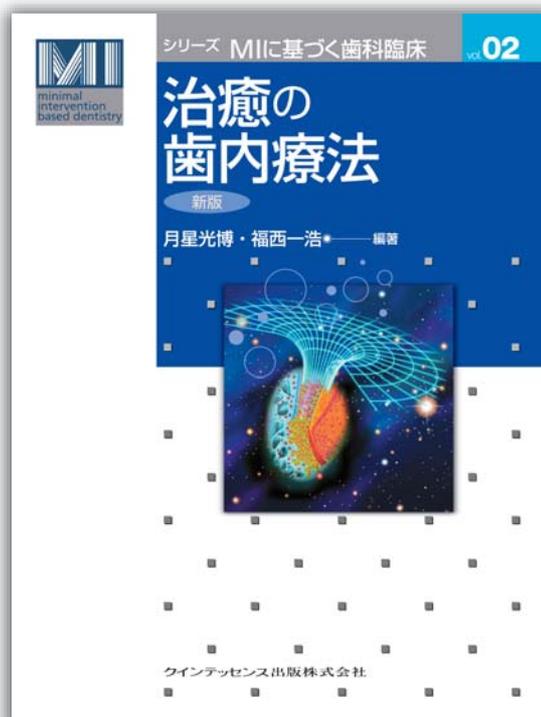
※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。

治癒の 歯内療法

新版

月星光博・福西一浩◎——編著

エンドがわかれば、歯科がわかる エンドが変われば、歯科が変わる



保存的で生物学的許容性の高い歯科治療を示す「シリーズ MIIに基づく歯科臨床」の第2弾。急速な技術革新の陰には、歯内療法の真の目的が薄れてしまうことへの危惧を拭えない。医療全般に共通していることであるが、治療の目的は、「生体の治癒を最大限に“引き出すこと”」である。

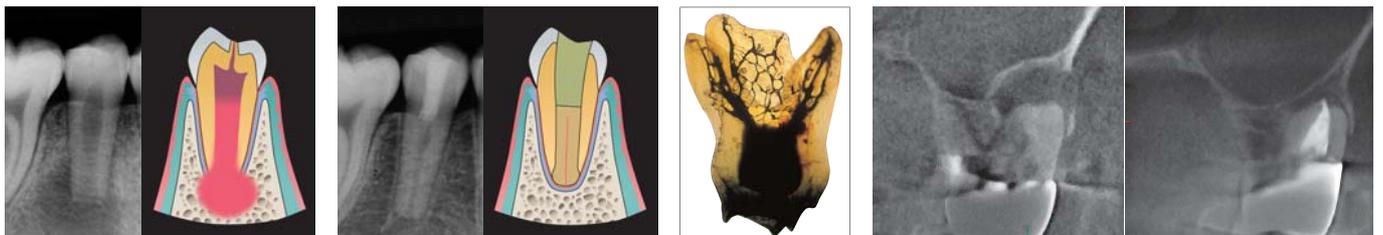
本書は、革新的な器具や技術を導入しつつ、生体の求めるエンドのゴールのあり方に迫る。

SCIENCE text book

- ◆臨床家のためのIIに基づく歯科臨床の教科書。
- ◆長期の臨床経過、多くの文献からの精緻な考察。

ART colour atlas

- ◆圧倒的に豊富な臨床例。
- ◆治癒の経過を観察した歯科用コーンビームCT像を掲載。
- ◆見やすいエックス線写真、口腔内写真が満載。



●サイズ:A4判変型 ●332ページ ●定価:18,900円(本体18,000円・税5%)



クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <http://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp

本来生体は、
想像以上の感染防御力(免疫力)と失われた組織の
再生力を有している。
歯科医師が目指さなければならないことは、
生体(免疫と再生)への手助けである。

CONTENTS

- CHAPTER 1 歯内感染の病因論
- CHAPTER 2 診査・診断・治療方針
- CHAPTER 3 う蝕象牙質への対応
- CHAPTER 4 歯根未完成歯の歯髄処置
- CHAPTER 5 乳歯の根管処置
- CHAPTER 6 根管のプレパレーション
- CHAPTER 7 根管清掃・貼薬
- CHAPTER 8 根管充填
- CHAPTER 9 CBCTとマイクロスコープを用いた歯内療法
- CHAPTER10 歯根と根管の形態学
- CHAPTER11 歯髄再生療法の現状と将来



minimal
intervention
based dentistry

シリーズ MIに基づく歯科臨床

(vol.3以降〔仮題〕も順次発刊予定)

- vol.1 外傷歯の診断と治療 増補新版
- vol.2 治癒の歯内療法 新版
- vol.3 コンポジットレジンと審美修復
- vol.4 自家歯牙移植
- vol.5 歯周治療の科学と臨床

「シリーズ MIに基づく歯科臨床」を刊行するにあたって

筆者は開業して約30年が経過した。この間、ペリオ、エンド、修復、外傷歯、歯牙移植など、さまざまな歯科臨床に興味をもち、記録を取り続けてきた。そして自分の臨床を振り返るとき、歯の硬組織・歯髄・歯根膜・歯槽骨などに対して、より保存的で、生物学的許容性の高い治療、いいかえれば、できるだけ被せない、抜髄しない、抜歯しない治療、すなわちminimal intervention (MI)の重要性(歯の延命と患者の喜びにつながること)を思い知るにいたった。

筆者は長年、クインテッセンス出版の雑誌や本で、多くの症例発表、論文考察の機会をいただいていたが、このたび、それらに新たな知見・考察・臨床経過を大幅に加えて、5つの「シリーズ MIに基づく歯科臨床」として出版する機会をいただいた。多くの読者の共感が得られれば幸いである。

月星光博

きりとり線

注文書

シリーズ MIに基づく歯科臨床 Vol.02 治癒の歯内療法 新版

冊注文します。

モリタ商品コード:805411

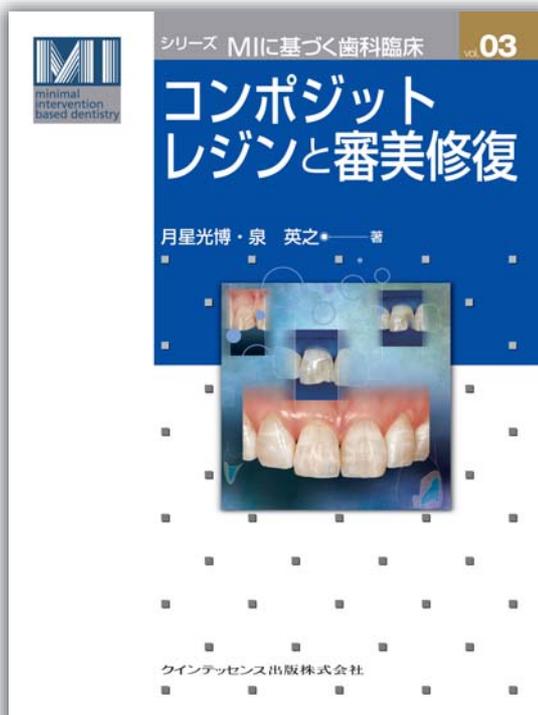
●お名前	●医院名	●ご指定納入店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	
		支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定納入店がない場合は送料を頂き、代金引換宅配便でお送りさせていただきます。

コンポジット レジンと審美修復

月星光博・泉 英之◎——著

コンポジットレジンなしでは生きられない
We can't smile without composite!



「科学」(science)と「術」(art)とは、歯科治療でよく用いられる言葉である。コンポジットレジン修復にはこの言葉がことのほかよく似合う。どんなすぐれた審美修復も乏しい材料学的知識の前には意味をもたないし、逆に、すぐれた知識をもち合わせていても、乏しい技術の前にはその真価を発揮できない。

text book SCIENCE

- ◆う蝕歯質への対応, I~V級窩洞の修復, マルチレイヤーテクニクなど広く深く解説。
- ◆臨床家のためのMIに基づく歯科臨床の教科書。
- ◆臨床経過, 多くの文献からの精緻な考察。

colour atlas ART

- ◆圧倒的に豊富な臨床例。
- ◆術式などを示した見やすいイラスト, 口腔内写真が満載。



●サイズ:A4判変型 ●248ページ ●定価:12,600円(本体12,000円・税5%)



クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <http://www.quint-j.co.jp/> e-mail mb@quint-j.co.jp



歯科におけるミニマルインターベンション(MI)は、
コンポジットレジンが発展なくして語れない。
コンポジットレジンとは、歯の硬組織と歯髄を守りながら、
審美と機能を回復する生体材料である。

CONTENTS

- CHAPTER 1 コンポジットレジンが可能にした機能と審美の回復
- CHAPTER 2 コンポジットレジンの物性
- CHAPTER 3 う蝕象牙質への対応
- CHAPTER 4 コンポジットレジン修復における窩洞の条件
- CHAPTER 5 I級窩洞のコンポジットレジン修復
- CHAPTER 6 II級窩洞のコンポジットレジン修復
- CHAPTER 7 III級窩洞のコンポジットレジン修復
- CHAPTER 8 IV級窩洞のコンポジットレジン修復
- CHAPTER 9 V級窩洞のコンポジットレジン修復
- CHAPTER 10 マルチレイヤーテクニック①
- CHAPTER 11 マルチレイヤーテクニック②
- CHAPTER 12 正中離開の是正と、歯冠の形態修整
- CHAPTER 13 外傷歯のコンポジットレジン修復
- CHAPTER 14 無髄歯の歯冠の漂白
- CHAPTER 15 金属とレジンとの新しい接着強化システム「コジェット」の臨床応用



シリーズ MIに基づく歯科臨床

- vol.1 外傷歯の診断と治療 増補新版
- vol.2 治癒の歯内療法 新版
- vol.3 コンポジットレジンと審美修復
- vol.4 自家歯牙移植
- vol.5 歯周治療の科学と臨床

(vol.4以降〔仮題〕も順次発刊予定)

「シリーズ MIに基づく歯科臨床」を刊行するにあたって

筆者は開業して約30年が経過した。この間、ペリオ、エンド、修復、外傷歯、歯牙移植など、さまざまな歯科臨床に興味をもち、記録を取り続けてきた。そして自分の臨床を振り返るとき、歯の硬組織・歯髄・歯根膜・歯槽骨などに対して、より保存的で、生物学的許容性の高い治療、いいかえれば、できるだけ被せない、抜髄しない、抜歯しない治療、すなわちminimal intervention (MI)の重要性(歯の延命と患者の喜びにつながること)を思い知るにいった。

筆者は長年、クインテッセンス出版の雑誌や本で、多くの症例発表、論文考察の機会をいただいてきたが、このたび、それらに新たな知見・考察・臨床経過を大幅に加えて、5つの「シリーズ MIに基づく歯科臨床」として出版する機会をいただいた。多くの読者の共感が得られれば幸いである。

月星光博

きりとり線

注文書

シリーズ MIに基づく歯科臨床 vol.03 コンポジットレジンと審美修復

冊注文します。

モリタ商品コード:805500

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	
支店・営業所		

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送りさせていただきます。

書籍注文書

鹿児島県歯科医師協同組合

FAX099-226-3353



5% 引き
のお得な斡旋
価格です!

出版社名	書名	斡旋価格	注文冊数
クインテッセンス出版	シリーズMIに基づく歯科臨床 vol01 外傷歯の診断と治療 -増補新版- 月星光博 著	¥9,276 (税込)	
クインテッセンス出版	シリーズMIに基づく歯科臨床 vol02 治癒の歯内療法 -新版- 月星光博・福西一浩 編著	¥17,955 (税込)	
クインテッセンス出版	シリーズMIに基づく歯科臨床 vol03 コンポジットレジンと審美修復 月星光博・泉英之 著	¥11,970 (税込)	
クインテッセンス出版	M(Minimal)T(Tooth)M(Movement) 一般臨床医のためのMTM 月星光博/月星千恵 編著	¥7,281 (税込)	
クインテッセンス出版	別冊 歯科衛生士 長期メンテナンスに挑もう! ~15症例から学ぶ、その根拠とコミュニケーションのポイント~	¥4,588 (税込)	

※離島は別途送料がかかります。

(契約書店：(株)九州神陵文庫鹿児島営業所)

会員番号 81- _____

診療所名・氏名 _____

住 所 〒 _____

連絡先 TEL _____ FAX _____

平成 26 年 1 月 10 日作成